

第4学年 国語科学習指導案

1 単元名 「物語を紹介しよう」

教材名 「一つの花」

2 単元の目標

- ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに想像して読むことができる。
- ・物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方や考え方の違いに気づくことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○目的に応じ、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を考えたりしながら文章を読もうとしている。	○内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読している。 ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像しながら読んでいる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。	○言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。 ○理解するために必要な語句を増やし、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。 ○指示語や接続語には、文と文の意味をつなげる役割があることを理解している。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

「物語を紹介しよう」を単元を貫く言語活動に設定することで、友達と異なる考え方や感じ方を気づくことを大事にしたいと考えた。作者が特別な意味を込めた言葉が物語にちりばめられており、そこに着目してどのような意味が込められているのかを想像して読み深めていく教材だと言える。意図的に使われた表現に着目し、登場人物の心情や情景の想像を広げながら読み深めていこうとする意欲を高めていきたいと考える。

(2) 教材文について

本教材は、戦争という過酷な状況の中を懸命に生きる家族の姿を描いた物語である。物が十分ではなかった日々から、「一つだけ」という言葉を覚えたゆみ子。苦しい状況を変えることができず、無力感からやりきれない思いをもつ父親。子供に十分な満足を与えることができないが、気丈に振る舞う母親。つらい状況におかれていても、ゆみ子の成長を願う父親、母親の様子や行動、場面の情景から心情を豊かに想像し読むことができる。この時代に、それぞれの人物が置かれている立場を想像し、互いを思い合う家族の愛情、戦争の悲しさを描いている物語であると言える。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

(1) 4つの思考の型を取り入れた言語活動

(2) 「物語文を読む10の観点」の活用

(3) 板書の工夫・学習環境の工夫

- ・学習の振り返りができるように、模造紙に書いて教室に掲示し、以前の学習内容を振り返ることができるようにする。

(4) 発問の工夫

- ・児童が叙述を根拠に想像できるよう、視点をしばって発問する。

(5) ワークシートの工夫

- ・一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場を限定することで、児童が課題に取り組みやすくなるようにした。また、サイドラインを引くための本文と自分の考えを書き込むスペースを一体化させることで、叙述に基づいて自分の考えがもてるようにする。

(6) 時代背景について理解を深める

- ・戦争を体験した語り部の話を聞くことなどを通して、物語の時代背景を理解する。

6 学習指導計画 (全9時間)

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	語り部の話を聞く。	・戦争を体験した人からの話を聞き、戦争中の様子を知る。	【関】戦争中の様子を想像しようとしている。 (観察)
	2	初発の感想を書く。	・心に残ったことを中心に感想を書く。	【関】心に残ったことを感想に書いている。 (発表・ワークシート)
	3	物語の大体をつかむ。	物語のあらすじをとらえよう ・10の観点に基づき、物語の構成を捉える。	【読】物語のあらすじをつかみ、ワークシートにまとめている。(ワークシート)
2	4	第一場面から母がゆみ子を思う気持ちを読み取る。	「一つだけちょうだい。」というゆみ子の言葉から、戦争中のくらしを読み取ろう (第一課題) ・戦争中、どのような暮らしをしているのかが読み取れるところにサイドラインを引く。【選択】 「一つだけー。一つだけー。」のー(ダッシュ)にこめられた母親のゆみ子に対する思いを考えよう (第二課題) ・「自分の分から一つ、ゆみ子に分けてくれるのでした。」からどのような気持ちでゆみ子に分けているのかを想像し、ー(ダッシュ)に込められた思いを考える。【類推】 (言葉の力) ー(ダッシュ)	【読】母親の言葉と行動から、ゆみ子に対する気持ちを読み取ることができる。(発表・ワークシート)
	5	第二場面を読み、父親がゆみ子を思う気持ちを読み取る。	お父さんが深いため息をついたのはなぜかを読み取ろう (第一課題) ・お父さんのゆみ子に対する気持ちが表れているところにサイドラインを引く。【選択】 なぜお父さんはゆみ子を「めちやくちやに高い高い」するのだろうか (第二課題) ・どのようなときに「めちやくちやに」するのかを考え、お父さんがゆみ子に対してどのような思いをもっているのかを想像する。【類推】 (言葉の力) めちやくちやに	【読】「めちやくちや」という行為にはお父さんのどんな思いが込められているかを読み取ることができる。(発表・ワークシート)

6	第三場面を読み、母親の父親に対する思いを読み取る。	<p>泣き顔を見せたくなかったのは、なぜかを読み取ろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争に行くということはどういうことなのかを考え、ゆみ子たち家族の様子を考える。【関係付け】 <p>お母さんの気持ちが表れているところはどこだろう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争に行くお父さんに対して言った言葉に込められた、お母さんの気持ちを想像する。【類推】 <p>(言葉の力)「いいわねえ。」気持ちとは裏腹な言葉の表現</p>	【読】戦争に行くお父さんに対する、お母さんの思いを読み取ることができる。(発表・ワークシート)
	7 (本時)	<p>第四場面を読み、父親の願いを読み取る。</p> <p>お父さんは一輪のコスモスにどんな願いをこめたのだろうか (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つだけ」の言葉に込められたお父さんの願いを想像する。【類推】 <p>一つの花を見つめながら汽車に乗って行ってしまうお父さんの思いとは何だったのだろうか (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何も言わずに去って行ったお父さんの思いを、— (ダッシュ) や文章表現から想像する。【類推】 <p>(言葉の力) 余韻を表す— (ダッシュ)</p>	【読】最後の文章に込められた、お父さんの願いを読み取ることができる。(発表・ワークシート)
	8	<p>第五場面を読み、戦争後の家族の再生を読み取る。</p> <p>十年という月日で、変わったところはどこだろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦時中と戦後で変わったところに気付く。【比較】 <p>「でも」は何を表しているかを考えよう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後どのような気持ちで生活をしているのかを想像する。【類推】 <p>(言葉の力)「でも」逆接</p>	【読】逆接の表現から戦後、ゆみ子はどのような思いで生活しているかを想像できる。(発表・ワークシート)
3	9	<p>物語を紹介する。</p> <p>物語を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着目した事柄について、「一つの花」を紹介し合う。 	【読】紹介を聞き合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。(観察)

7 本時の指導 (7 / 9時)

(1) 本時の目標

- ・文末の— (ダッシュ) に着目して、ゆみ子の幸せを願うお父さんの気持ちを読み深めることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	<p>1 10の観点から第四場面を確認する。</p> <p>2 第四場面を黙読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの願いを想像しながら黙読する。 	○出征の場面であることを確認する。	
展開	3 本時の課題を知る。		
	<p>お父さんは一輪のコスモスにどんな願いをこめたのだろうか (第一課題)</p> <p>(1) どのようなコスモスなのかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆみ子の家族の境遇に似ていることに気付く。 	○なにげなく咲いているコスモスの花は、ゆみ子の家族の様子	

	<p>(2) お父さんの「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」の言葉に着目し、その表現に込められた願いについて考える。【類推】</p> <p>4 お父さんの行動を確認する。</p> <p>(1) 第四場面の最後の文章に注目する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成やー(ダッシュ)について考える。 	<p>と重なることを意識させる。</p> <p>○お父さんの言った「一つだけ」は、ゆみ子が使っている「一つだけ」の意味とは異なることをおさえる。</p>	<p>【読】一つの花に込められた、お父さんの願いを想像することができる。(ワークシート)</p>
<p>一つの花を見つめながら汽車に乗って行ってしまってお父さんの思いは何だったのだろうか(第二課題)</p>			
	<p>(2) お父さんの思いを表すために、ー(ダッシュ)を使っているのは、どのような意味があるのか考える。【類推】</p> <p><言葉の力></p> <p>余韻を表すー(ダッシュ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強調したかった思いや気持ち。 	<p>○文章を入れ替えて読み、比較することで、その効果を感じさせる。</p>	<p>【読】文末のー(ダッシュ)から、ゆみ子の幸せを願うお父さんの気持ちを読み取ることができる。(発表・ワークシート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返りながら、第四場面の範読を聞く。 <p>6 既習の教材文にも、同じ効果のある文章があることを知る。</p>	<p>○ー(ダッシュ)に込められた父親の思いが味わえるように範読をする。</p>	